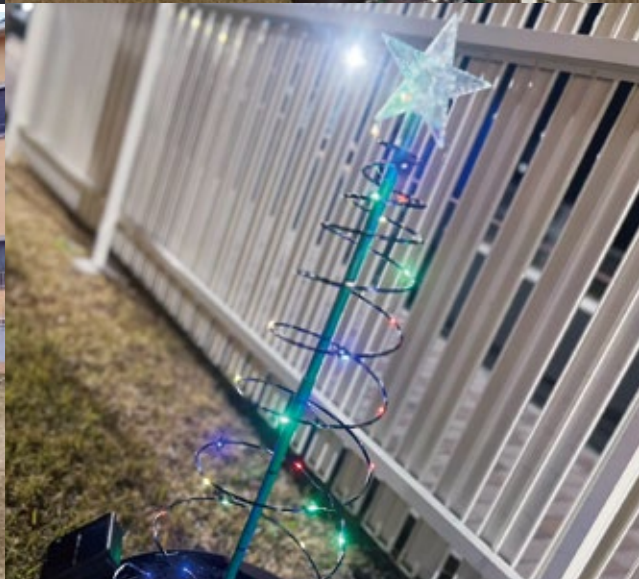
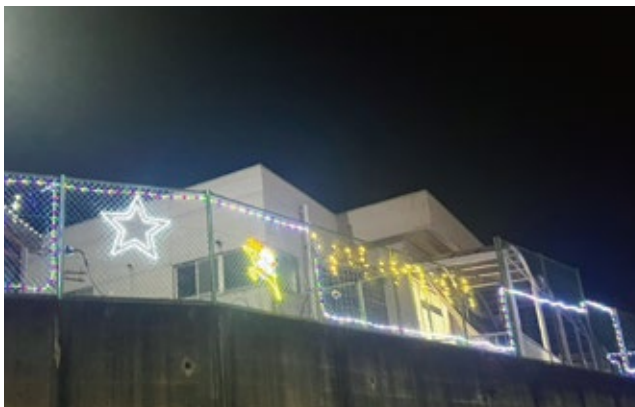


つつじ

2024年1月発行

第65号

KOUSAIKAI



目次

- P1 ◆ イルミネーション
- P2 ◆ 令和6年を迎えて 新年のごあいさつ
- P3 ◆ 各事業所から(つつじ kid's クラブ、つつじヶ丘ホーム、クローバー、光の園)
- P4 ◆ 行事の様子 夜間防災訓練 園外活動 お楽しみ会 イルミネーション点灯



発行元：社会福祉法人 広済会 発行責任者：理事長 石倉信男
〒376-0123 群馬県桐生市新里町武井455-1
TEL：0277-74-1530 FAX：0277-74-5830
URL <https://www.tsutsuzigaoka.net>





広済会

「令和六年 新年のあいさつ」

新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、職員の皆様方、ご家族様の益々のご健康とご清祥をお祈り申し上げます。広済会も中長期計画にのっとり、今日より明日を目指して前進しております。

昨年度、新たに発足したチームカンファレンスによる活動も利用者様の健康と安心・安全をそれぞれの専門分野で協議をして看護師、栄養士、サビ管、施設長の間で毎月討議、実行している姿は福祉の最も基本なことでもあります。

そして利用者様の健康と安らかな憩いの場としての文丸ふみまる公園も完成いたしました。その利用に關しましては、利用者様以外にも地域の皆様にもくつろぎの場としても開放し、四季を通じてのイベントも考えていきたいと思っています。

また昨年コロナ後、初めて行われた秋まつりにも地域の方々のご協力のもと、盛大に開催することができました。新里中学校の吹奏楽演奏や、渡良瀬特別支援学校の和太鼓演奏も見事な意義のあるイベントだったと思います。

職員の心とスキルの高揚のための各種の研修や資格制度の設立も体系的に整備でき、福利厚生にも新しい感覚で推進することができました。

本年も、新里中学校の吹奏楽部の定期演奏会の会場として広済会の多目的ホールが決まりました。また、小・中・高校への福祉教育においても広済会への依頼がきています。

つつじヶ丘手をつなぐ友の会や地域ボランティア等との結びつきも強化され、つつじヶ丘ホームの本部棟建設など本年も希望を胸に忙しく発展の年となります。本年も、職員と共に、話し合い、想い出を残せる輝かしい広済会の一年になれるように祈念する次第であります。

本年も、皆様と共に日本一の福祉施設を目指して頑張つてまいります所存です。

理事長 石倉 信男



「スポーツ大会 フライングディスク」

天気にも恵まれ9月なのに暑いくらいの日でした。現地に到着すると学生さんのボランテアが沢山いてくれました。参加者は4年前から比べると少ないように思われました。

午前はフリスビーを投げた距離を競う物で、体力と練習不足もあり残念ながら惨敗でした。午後はフリスビーを10回投げて何個輪に入るかを競うものでした。4人とも一生懸命行い、結果は銀メダル2枚と嬉しい結果になりました。審判にも投げ方が上手いと褒められました。

光の園 田淵 秀典



「秋のイベント」

毎年キッズクラブではハロウィンの制作をしてハロウィンイベントを行います。今年のハロウィン制作では、オバケやカボチャの形に切り取った紙に顔を描き、それを貼り付けてお菓子を入れるバッグ作りをしました。

ハロウィンイベントは10月31日に行い、カボチャの被り物や魔女などの仮装をしてみんなでオバケ探しゲームをしました。「オバケ、いないよ〜」「あつ！いたいた！」とみんなで楽しく探しました。そして、そのオバケのステッカーとお菓子を交換し、自分で作ったバッグの中にお菓子を入れて各家庭に持ち帰ってもらいました。みんなに満足してもらえたイベントになったと思います。

キッズクラブ 瀬谷 七星



「秋まつり」

10月21日に法人主催の秋まつりが開催されました。利用者様には、事前にどんな出店やキッチンカーが来るのかをお知らせしていたこともあってか、とても楽しみにしているようでした。

会場では、唐揚げやクレープ、焼きそばやジェラート、ジュースにかぼちゃ饅頭等、たくさんのお食べ物があり、皆さん目を輝かせながら「○○が食べたい！」と言いながら買い物を楽しんでいました。多目的ホールのステージでは、新里中学校吹奏楽部の皆さんの演奏や、松島麻美さんのコンサートがあり、手拍子をしながら聴いている方、楽しさのあまりステージに上がった利用者様もいました。

初めての行事でしたが、どの利用者様もまた行きたい、来年はどんなことをするのだろうと、期待に胸を膨らませている様子でした。

つつじヶ丘ホーム 菅原 剛

「秋まつり」

秋まつりにクローバーも出店し、自主生産品のかぼちゃプリンやかぼちゃ饅頭の販売を行いました。出来立てを味わっていただきたく、かぼちゃ饅頭は秋まつり当日の朝より蒸かしたてを準備しました。

当日は好天に恵まれて、利用者様や保護者様、地域の皆様に多数ご来場いただき好評な売れ行きでした。毎回の購入を楽しみにして下さっているお客様も多く、「また買おうよ。」の声も掛けていただき大きな励みとなりました。今後も職員、利用者様で美味しい商品づくりに頑張りたいと思います。

クローバー 田村 信博



「夜間総合防災訓練」

令和5年10月27日、夜間総合防災訓練を実施しました。

今回は、コロナウィルスが落ち着いてきたので、地域協力員様にも多数参加していただき、光の園施設内にて利用者様誘導を体験していただきました。終了後の反省会では、地域協力員様や大間々分署の消防署員様から、今後に繋がる発展的な意見をいただき感謝しています。

震災や火災はいつ発生するかわからないので、普段からの備えと定期的な避難訓練の実施及び見直しの必要性を改めて感じました。

光の園 飯嶋 貴輝



「園外活動」

3年間はコロナ禍で外出などが思うようにできませんでしたが、今年度はコロナも落ち着き数年ぶりの園外活動をしてきました。

今回は、テイクアウトしたお弁当をまねきねこで食べ、その後カラオケを楽しんでもらいました。歌い始めるとモニターの前までいき、感情をこめて歌っている方や大きな声で歌い楽しんでる方がいました。久々の園外活動に利用者様も職員も緊張しましたが利用者様に外出を楽しんでもらえ、とても良かったです。

今後はコロナ前のように園外活動を計画していき、利用者様が楽しめる機会をたくさん作っていききたいと思います。

みたけ寮 斉藤 之英



「お楽しみ会」

つつじヶ丘はなぞのでは、毎月「お楽しみ会」として利用者様が社会経験を積みながら楽しめるような様々な企画を考え実施しています。

例えば、キッチンカーを手配し寒い時期には昼食でラーメン、暑い時期にはおやつでアイスを食べたり、色々なゲームをしながらお菓子を食べたりと、普段とは違った余暇を楽しめる工夫を行っています。食事以外でも8月には園庭で花火を行い、皆さん楽しそうにされていました。利用者様は毎月楽しみにしているので、今後も楽しめる企画を立てて行っていききたいと思います。

はなぞの 武田 睦



「冬の装い」

12月1日につつじヶ丘学園フェンスに、つつじヶ丘手をつなぐ友の会によりイルミネーション飾りを実施しました。今回初めての取り組みで試行錯誤しながらも、会長はじめ会員の皆様、各施設長などにも飾り付けに協力していただき、ささやかながらも冬の夜を彩り、季節を実感できるようになったのではないのでしょうか。

今回の飾り付けに際しまして、たくさんイルミネーションなどの寄付を頂戴いたしました。

江原利夫様 小倉武雄様 石倉信男様 茂木清美様 武田英様 米原祐文様 善龍寺様（順不同）

ありがとうございました。

つつじヶ丘手をつなぐ友の会

事務局 渡辺 祐晋

